

学芸



CONTENTS

- 会報「学芸」第13号
発刊にあたり 2
会長 和田 伸大
- 新理事就任ご挨拶 3
理事長 四上利輔
- 学芸10年是れ各字題字事略 4
高等学校 会長 高橋尊和
- 平成19年度PT会員の紹介 4
PTA会長 柳田隆夫
- シナム共和国の
ホーチミン市長と懇談 5
- 行事報告 6
- 活動報告 8
- 青年部活動報告 9
- 貢献者紹介 9
- 河野会活動報告
成器3D会開催される 10
3D企画担当 松田耕作
- OB会水素発注
教育実習会 在校生報告 10
講師会で27年ぶり会合 11
北欧女子代表团 11
- 平成20年度卒業行事の企画 13
- 訃報 13
- 「学園開放也故道哉選擇」
齊藤基義先生に贈り名 14
- 平成20年度 実施会への
資金充當贈り 15
- 平成18年度清算報告 16
- 年会費納入 16
OLCの石黒 16
- 前川英加留任の長い立ち 18
- 平成20年会報会及び
翌報会のご案内 19
- あとがき 19

第13号
2008



成 器 会
(大阪学芸同窓会)

発行所: 〒558-0003 大阪市住吉区長居1-4-15
TEL: 06(6693)6301 FAX: 06(6693)5173

会報 第十二号発刊にあたり



成器会会長 和田貞夫

本校の創始者である遠藤三吉先生が大阪市浪速区に成器商業学校を創設され、本年は一〇五周年を迎えることになります。現在大阪に百校近くの私立高等学校が存在していますが、創立後百年を越えている学校は数える程しかありません。

成器会では百年の歴史を持ち三万名を超える卒業生を輩出している学園で、あるのに、卒業生や先生方を始め、法人関係者、父兄等学園関係物故者の慰靈碑が未だにないことが不思議であるとの見知から慰靈碑の建立計画を決定し組織的に取り組みました結果、一昨年の十月二十九日にこれが完成し、同窓会員や学校法人関係者が参加して除幕式と開眼法要を執り行つたのであります。(会報十一号で詳細を報告済み)

本校の創始者である遠藤三吉先生が大阪市浪速区に成器商業学校を創設され、本年は一〇五周年を迎えることになります。現在大阪に百校近くの私立高等学校が存在していますが、創立後百年を越えている学校は数える程しかありません。

慰靈碑を建立した場所は高野山です。で世界遺産の指定を受けた高野山を訪れるような機会があれば是非この慰靈碑にも足を運んで戴くようにお願い申し上げておきます。

さて昨年は私たちの母校である大阪学芸高等学校で「見せかけの合格実績」を活用したいわゆる大学合格者水増し問題という不祥事を起こしてしまいました。(九月に卒業生の皆様宛に学校法人・高等学校連名で発送された詫び状を参照して下さい)

少子化が急速に進行する環境の中で学校間競争が激しくなり、応募者数を高める手段として活用した学園経営側の事情は判らないこともないが、不祥事問題として商業新聞で報道され、世間を騒がせたことは、結果的に伝統あ

る本校に汚名を残し、多くの卒業生の名誉に傷を付けたことになるのではないか。今後の再生にあたり必要なことは、先ず社会に対する謝罪と再生への決意の内容だと思います。そして再生のために学園側・教師集団・P.T.A・同窓会が力を併せて努力をするということだと考えます。そのことに対して社会がどう評価してくれるかということだと思います。

しかし再生の進め方については残念ながら学園側と同窓会側との意見に相異があつたことは事実ですが、学校を愛し、学校の将来を考える気持は同窓会に勝るものはないと言じ、学園に対して成器会としての意見を述べさせて戴いた次第であります。

この際同窓生が一致団結して、母校の再生と発展のために力を貸し戴きましたようにお願い申し上げます。

昨年の会報・学芸・第十二号の紙面でも呼びかけさせて戴きましたが、卒業後末だに卒業期別の同窓会もクラス会も開催していない卒業期の方がおられます。ですが、是非一度どなたかが発起呼び掛け人になって卒業期別の同窓会を開催して戴き担任の先生を交えた思い出の一ページを作つて下さい。その際に成器会へ連絡頂ければ役員を派遣して同窓会活動の報告等をさせて戴きます。そのことの繰り返しが成器会を充実して行くことに通じると考えます。

併せてお願いしますが、今年も吹奏楽部OB会から本誌への記事を送って貢いましたが、野球部・空手部・詩吟部・弁論部等在校時代にそれぞれの部活動に参加されていた方が卒業後OB会を組織されたり、会合をお持ちになつた節には是非その内容を記事として本誌に寄せて戴きたくお願い申し上げます。

百有余年の歴史を持ち、三万名以上の卒業生が社会に貢献し、各界で名をあげてきた先輩たちを擁する本校(現大阪学芸高等学校・大阪学芸中等教育学校)の名を挙げるためには同窓会の果す役割が非常に大きいと思いますので成器会への一層のご協力を願い致します。又本誌十二頁に成器会の本年度年間行事計画を掲載していますので積極的なご参加をお願い致しますが、特に成器会総会と秋の懇親会には是非多数のご参加をお願い申し上げます。

新理事長就任挨拶



学校法人大阪学芸
理事長

岡本利雄

この度、本校卒業生（昭和41年卒）として、学校法人大阪学芸理事長に昨年9月より就任いたしました。若輩者ですが宜しくお願ひいたします。

就任後、早5ヶ月がたち、責任の重さを日々痛感しております。

昨年7月に起きた「大学合格実績の上乗せ問題」につきましては、卒業生の皆様には大変なご心配と迷惑をお掛けしました。学園の名を汚し、皆様の誇りと、信頼を傷つけましたこと心からお詫び申し上げます。

特に「進学奨学金制度」の問題点を正確に認識することなく、社会的道義に反する運用を続けてきたことは、痛恨の極みであります。

学園としまして、2度と今回のような問題を起さない決意で、「第3者による調査委員会」、並びに「学園再生委員会」を立ち上げ、意見、要望の集約に努めています。

今後あるべき学園の姿について、具体的課題解決の検討にも取り組んで行きたいと考えています。

先日の新聞記事に大阪工大と啓光学園、先には関西大学と北陽高校との経営統合が報じられるなど私学をとりまく情勢は一段と厳しさを増し、今後、変化の激しい時代になることが予想されます。

特に1. 少子化の進行による若年者人口の減少 2. グローバル化による国際競争の激化と異文化との共生の皆様には大変なご心配と迷惑をおかけします。

特に1. 少子化の進行による若年者人口の減少 2. グローバル化による国際競争の激化と異文化との共生

の皆様には大変なご心配と迷惑をおかけします。

特に「進学奨学金制度」の問題点を正確に認識することなく、社会的道義に反する運用を続けてきたことは、痛恨の極みであります。

学園としまして、2度と今回のような問題を起さない決意で、「第3者による調査委員会」、並びに「学園再生委員会」を立ち上げ、意見、要望の集約に努めています。

そのような教育サービスが、生徒や保護者のニーズに合致すると同時に、学校生活の満足度を高め、生徒の進路希望の実現を図ることにあります。

教育活動の特色を明確にすると共に、生徒、保護者のニーズをきめ細かく把握する取り組みが欠かせなくなっています。

その意味でも到達目標の設定とその評価を徹底していく目標管理型の考え方方が一層求められていると考えています。

卒業生の皆様のご意見、要望にもしっかりと耳を傾け、学園運営に取り組んで行きますので今後とも母校への変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げまして」挨拶とさせて

ます。

教職員が一丸となつて、情熱をもつて教育に取り組む姿勢が大切だと考えています。

今年4月には既に階建の南館校舎が完成予定です、質の高い教育サービスを保障するための教育環境の整備、充実にもしっかりと取り組んで行きたいと考えています。

最後になりますが、卒業生として微力ながら母校の発展のために全力で取り組む覚悟です。

卒業生の皆様のご意見、要望にもしっかりと耳を傾け、学園運営に取り組んで行きますので今後とも母校への変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げまして」挨拶とさせて頂きます。



平成19年度高等学校学事報告



校長

高橋峰和

えられ、自習室利用者が成果を挙げてくれることを期待しています。

教育活動の基本は、教える指導者の資質向上に尽きます。教職員に外部研修への参加を奨励しています。研修内容も教科研修・初任者研修・指導力アップ研修と多岐にわたり、教職員のスキルアップに大いに役立っています。

(2) 簿集活動

平素は、同窓会の皆様から、本校の教育活動に対する支援を賜り深く感謝申し上げます。おかげさまで、在校生1450名強の教育活動が順調に進んでいます。

私は、教育目標（4本柱）の実現に向けて、もとより微力ではありますが、全力投球で校務にあたっております。

① 自主的・自律的な学習態度を養い、学力を向上させる。

② 社会規律を尊重し、豊かな情操を身につけた品性ある人間を育成する。

③ お互いの人格を尊重し、協力・協同できる学校生活を確立する。

④ 海外修学旅行・海外語学研修などの学校行事を通して、多文化（異文化）に触れることによって国際的な視野をもった人間を育成する。

(1) 教育活動

本年度入学生の海外修学旅行（2年次に実施）から、ハワイ・イギリスの2コースを増やしました。生徒・保護者の皆さんには好評をいただけています。

進学指導では、「管理自習室」が生徒に定着して、毎日、夜遅くまで、50名近くの生徒が利用して、満席状態です。大学受験では、個別学習の占める比率が大きいと考えています。

同窓会の益々の発展と会員の皆様の健康を期待申し上げますとともに、本校教育に対するいつぞのご支援・ご協力をいたたきますようお願いいたします。

平成19年度PTA活動の報告



PTA会長

植田隆夫

10月 PTA社会見学会
（大塚国際美術館）

11月 スクールカウンセラー報告会
第2回進路説明会

12月 志年会
（学校管理職、PTA役員）

2月 卒業式 私学振興大学

4月 入学式

本年度のPTA会長の植田です。5月にPTA会長を拝命してから半年あまりが過ぎました。この間、大学進学実績に関する学習塾対象説明会＆オープンスクールは都合4回実施したところ、毎回、中学生・保護者で盛況でした。特筆すべきは、中等教育学校合同でしかも校外会場で開催にぎりぎり、大盛況でした。

A会長を拝命してから半年あまりが過ぎました。この間、大学進学実績に関する学習塾対象説明会＆オープンスクールは都合4回実施したところ、毎回、中学生・保護者で盛況でした。特筆すべきは、中等教育学校合同でしかも校外会場で開催にぎりぎり、大盛況でした。

（3）保護者・学校連携

本校はこれまで、「学校なり」「P.T.A新聞・きずな」「シラバス（年間の授業計画冊子）」を全保護者にお渡しする等、平素からの保護者・学校連携につとめてきました。本年度はじめて、保護者満足度調査「魅力ある学校づくりのための保護者アンケート」を実施しました。現在集計中ですが、今後の学校運営に生かせるデータが得られるものと期待しています。

（4）保護者・学校連携

A会長を拝命してから半年あまりが過ぎました。この間、大学進学実績に関する学習塾対象説明会＆オープンスクールは都合4回実施したところ、毎回、中学生・保護者で盛況でした。特筆すべきは、中等教育学校合同でしかも校外会場で開催にぎりぎり、大盛況でした。

（3）保護者・学校連携

本校はこれまで、「学校なり」「P.T.A新聞・きずな」「シラバス（年間の授業計画冊子）」を全保護者にお渡しする等、平素からの保護者・学校連携につとめてきました。本年度はじめて、保護者満足度調査「魅力ある学校づくりのための保護者アンケート」を実施しました。現在集計中ですが、今後の学校運営に生かせるデータが得られるものと期待しています。

以下に本年度PTA活動の概要を報告します。

平成19年5月 PTA総会 新田役員懇親会

7月 PTAボーリング大会

9月 文化祭でのPTAバザー出店

第一回進路説明会

以上

ベトナム共和国の ホーチミン市長と懇談



右から2人目がクアン・ホーチミン市長
左から2人目がリュウ・在大阪ベトナム領事館

池俊二社長にクアン・ホーチミン市長一行の訪問受け入れを要請し、歓談が実現することになりました。居合わせた中西晃副会長と上野寅次郎副会長は「折角の機会だから同席しては…」と和田会長から

国総領事館から和田貞夫成器会々長に要請がありました。和田会長は早速大阪市中央区谷町三丁目ににある株式会社サンリット産業の小

池俊二社長を訪ね、「名が大阪を訪れられ、関西経済団体連合会幹部や太田大阪府知事を訪問されました。その際クアン市長に『大阪の中小企業の方に会える機会を作ってほしい』

と在大阪ベトナム共和国総領事館から和田貞夫成器会々長に要請がありました。和田会長は早速大阪市中央区谷町三丁目ににある株式会社サンリット産業の小

池俊二社長にクアン・ホーチミン市長一行の訪問受け入れを要請し、歓談が実現することになりました。居合わせた中西晃副会長と上野寅次郎副会長は「折角の機会だから同席しては…」と和田会長から

誘われ、当日和田会長に同席して株式会社サンリット産業で催された交流懇談会に参加致しました。

約二時間に亘る情報交換等で花が咲き有意義な日越両国の交流の場にもなった



長は大阪商工会議所の中小企業担当副会頭で和田会長とは親しい間柄であります。



行事報告

平成十九年度 定期総会・懇親会

長、「青年部活動報告」中川恭孝青年部部長からそれぞれ報告された。

副会長 漣 良介

審議事項

平成十九年度「行事計画（案）」足

立好一 副会長、「予算（案）」井原靖二
副会長兼会計、「役員改選」和田会長時より道頓堀ホテルに於いて六十四名から顧問就任の説明がありました。

の出席者のもと、定期総会が開催されました。各議案すべて全会一致で承認されました。

司会者の仲西晃副会長の開会宣言で和田会長の挨拶に続き、学園側から和

田国昭進学教頭より詳細にわたり学事報告などの挨拶を受けました。

議長は津良介副会長、副議長に田中敏文副会長が選出されました。

懇親会

総会に続き、午後五時より懇親会が開催されました。

宴が進むにつれて、名入カラオケ大会が始まり、日頃の皆様方の美声を聞きながらなじやかなひとときを過ごす事ができ、懇親会も無事終了すること出来ました。

報告事項

平成十八年度「行事報告」西野仁彦
副会長、「決算報告」井原靖二副会長
兼会計、「監査報告」上野寅次郎副会



平成19年度 総会出席者

高野山普賢院一泊と 槇の湯温泉旅行

副会長 西野仁彦



高野山普賢院 出席者

今年も例年通り八月四日（土）～五日（日）と普賢院への一泊旅行が執り行われました。一時の涼を求めて本年

墓碑に皆でお参りしよう」と話された後、足立副会長の乾杯と和やかに時の経つのを忘れる宴が始まった。

翌日は、早朝より勤行に全員参加、学園関係物故者の靈に思いをはせ、仏塔下にて安置されている仏舎利に手を合わせ数珠屋次郎兵衛みやげ物店手配のマイクロバスにて奥の院近くまで送つて頂き、中の橋への帰途、普賢院のお坊さんと共に慰靈碑に読經、礼拝、記念撮影。

槇の湯温泉にて、マツタリとしたお湯につかり天然鮎の塩焼きをいただき、ゆっくりとした時間を過ごしました。三時頃、バスにてケーブル高野山駅に送つて頂いて解散。

このような「のんびりとした旅」、皆様が友人を誘い合って参加してください」とお待ちしております。

は十三名の参加者で楽しくにぎやかに交歓できました。

夕食時の会長の挨拶では「先日の新

聞報道による大阪学芸高等学校の大学

入学合格者の水増しについては遺憾であると表され、明日は昨年建立なった

秋季懇親会開催

事務局長 甘佐勝

平成十九年十一月十七日（土）午後五時より本校で開催されました。

同窓会員ご来場を歓迎し、本校吹奏楽部の演奏で心和む一時を過し、開会が二十分遅れになりましたが、西野仁彦副会長の開会宣言、物故者黙祷に続き、和田貞夫会長挨拶、学園を代表し岡本利雄理事長挨拶、そして高橋峰和学校長の学事報告、PTA会長槇田隆夫氏の挨拶を頂き直ぐに記念写真撮影をしました。

続いて、藤井昭三顧問の乾杯の音頭で宴会に入り、同窓会員も各テーブルからテーブルへと軽やかに話の団を広げ時間の経つのも忘れ楽しい一時を過しました。

最後は、新旧校歌の大合唱、福留利光枚方市会議員が万歳三唱し、又来年も多数の出席を期待し、仲西晃副会長の閉会挨拶で無事閉幕となりました。



成器会活動報告

- 定期総会**
- 議長・津 良介副会長・副議長・田 中敏文副会長
- (報告事項) 行事報告・決算報告・監査報告・「青年部」・活動報告・決算報告・それぞれ報告承認されました。
- 平成19年2月22日（木）午前10時、於：本校 大阪学芸高等学校 卒業式 卒業生590名 和田会長出席
- 平成19年3月10日（土）午後2時、於：同窓会室 第8回役員委員会 出席者14名 (1) 総会準備について、(2) その他
- 平成19年4月6日（金）午前10時、於：NHK大阪ホール 大阪学芸高等学校 入学式 入学生701名 和田会長出席
- 平成19年6月12日（火）午前9時、於：グランド（本校） 大阪学芸高等学校 体育祭 和田会長出席
- 平成19年8月17日（金）午後5時30分、於：同窓会室 第2回緊急役員会 出席者16名 「大学合格実績の水増し問題」に対する協議
- 平成19年9月15日（土）午後5時30分、於：同窓会室 第3回役員委員会 出席者17名 (1) 学校への申入れについての経過報告 (2) 秋季懇親会の準備について、(3) 会報発行の準備について (4) その他
- 平成19年10月19日（金）午後5時30分、於：同窓会室 第4回役員委員会 出席者15名
- 平成19年5月19日（土）午後3時、於：道頓堀ホテル 出席者60名
- 平成19年7月26日（金）午後5時30分、於：同窓会室
- 定期総会**
- 第1回緊急役員会 出席者23名
 ・7月20日付け読売新聞掲載の大坂成器会・高野山普賢院1泊と横の湯温泉旅行
- (理事長・校長)
 (3) 秋季懇親会の準備について
 (4) 会報発行の準備について
- 平成19年8月4日（土）～5（日）
 参加者13名 成器会・高野山普賢院1泊と横の湯温泉旅行
- 平成19年11月17日（土）午後4時30分（受付開始）
 平成19年度秋季懇親会 出席者62名 会場・本校食堂（午後5時30分）、ホール・大阪学芸高等学校吹奏楽部演奏（午後5時）司会・西野仁彦副会長の開会宣言で開幕
- 平成19年12月17日（月）午前10時、於：本校 出席者7名 校祖祭 和田会長・副会長他
- 平成19年12月22日（土）午後3時30分、於：ニューミュンヘン南大使館 第5回役員・委員会及び忘年会 出席者二十八名
- (1) 学園側からの同窓会に対する回答書について
 (2) 10月6日（土）顧問会議の報告について
 (3) 秋季懇親会の準備について
 (4) 会報発行の準備について
- (1) 会報の編集と校正について
 (2) その他
 忘年会 5時30分

平成十九年度成器会
青年部活動報告

忘年会旅行

中川 恭孝（平成十年卒）

平成十八年十一月十六日、十七日の両日に青年部の忘年会旅行に参加いたしました。昨年とは引き換え、風雪には会わず現地に向かう事ができました。

途中サービスエリアで休憩をし、まずは、観光のため、金沢市外の加賀の武家屋敷跡を訪りました。一時古の文化に時間を経つを忘れ観光いたしました。武家屋敷を後にし、山中温泉の宿に着きました。食事の前に、良い温泉に入らせていただいた後部屋に戻ると、魚介類・山の幸やカニをたくさんいただくことができました。

翌朝、旅館で朝食の後、一面雪景色の温泉街に出かけて、途中の店でカニ味噌汁を食べ、そんなこんなで大阪への帰路に着きました。

ボーリング大会

中川 恭孝（平成十年卒）

平成十九年七月一日にアメリカ村のサン・ポウルにて青年部ボーリング大会を開催。できるだけ多くの青年部員に参加してもらおうと日時も日曜に変更しての開催となりました。結果、日頃行事に参加できない人達も参加してくれ、白熱したゲーム戦となりました。ゲームの後、シダックスにて懇親会。

夏季親睦会

高木 康之（平成三年卒）

平成十八年八月十九日（日）に青年部夏季懇親会が開催されました。今回の催しは、初の試みで、例年、夏季は、土、日曜日に青年部キャンプとして開催されますが、今回は、勤務者の会員の方々から「二日間の予定を開けるのは、大変、

同窓会会长の和田貞夫先生にお越し頂いた、これから同窓会等についていろいろお話をいただきました。その後、食事を行ない、歌に話に延々盛り上がり、久々の再会にそれぞれ夕闇に消えてゆきました。

第7回「ゴルフコンペ

北村 勝行（昭和六十一年卒）

平成十九年七月十六日（祝） 第7回青年部ゴルフコンペも快晴の中、成器学園卒のOBの雄志にお集まり頂き非常に気持ちの良いラウンドで御座いました。今回エントリーしていただいたオーケーモントGCは、奈良でも名門で素晴らしいゴルフ場でした。メンバーの岡島氏に感謝です！来年で第8回目開催になります。年に一度、このコンペでお顔を拝見する方々ばかり。恒例行事になつてきています。五十一年卒、五十八年卒、六十一年卒、六十三年卒、とメンバーも様々ですがゴルフというスポーツを通して世代を超えて楽しく笑いの絶えない会にして行けたらと感じています。

来年も皆様、そろってご参加を心よりお待ち申し上げております。

お知らせ

青年部企画を募集中です。「こんな行事をしてほしい」という企画があれば、Eメールにてどんどんご投稿下さい、お待ちしております。その他、ご意見もお待ちしております。

Eメール
seiki_gakugei@yahoo.co.jp



同窓生短信

卒業50周年を迎えて

吉田 浩三（高校11期34年卒）三年D組卒業・昭和34年 D組55名恩師・田辺先生

みなさんお元気ですか？我々の組もサラリーマンを中心参加がありまし

た。現在、同窓会行事に参加したい思つていても勤務

などが多く忙で中々参加できな

い会員の方々が多い様で、今後も青年部対象の

世代に合わせた活動内容・活動

時間の設定工夫が必要であると

の意見も多く出

され、楽しく実り多き親睦会で

した。

毎年、6月に一泊で温泉に浸り、半年の反省と6月以降も頑張ろうと（年令的にも1年間の反省は物忘れもあるので忘年会だけではだめ）開催しております。別にたいした話もないもの反省と6月以降も頑張ろうと（年令的にも1年間の反省は物忘れもあるので忘年会だけではだめ）開催してあります。

田辺先生がお亡くなりになられておりました。

吉田まで

同期会活動報告 成器39会開催される



39会事務局 米田耕作

去る平成19年7月14日（土）午後6時から難波道頓堀ホテルで第九回成器39会同窓会が行なわれました。

第一回から第七回迄は川久保明君が会長を務めていましたが、61才の若さで昨年他界し、一代目会長に熊谷照雄君が選出されました。

平成5年から隔年で始めた同窓会でしたが、還暦を過ぎて、残る70才迄は毎年行なおうと言つ事になりました。今回は来賓恩師に久米藤馬、山本英雄、川岸春夫各先生方と、同窓会より和田貞夫会長、田中敏文副会長、甘佐勝事務局長が列席され、総勢38名の久し振りの大所帯でした。総会後、写真撮影を済ませ、熊谷39会々長の挨拶で

39会同窓会が行なわれました。私が高価にカラオケも鳴りをひそめ楽しい会話で終始しました。豪華景品の当たるピンゴゲームは大成功でした。私が高価に見える商品を一つずつ安い所で購入し集めたもので、まるで子供に戻った感じのひとときでした。

その後校歌をみんなで合唱して、39会副会長の塚本勝紀君が閉会の挨拶で締めくくりました。

今迄に来られた恩師来賓には、久保井正三、永浜俊昭、故三浦友久、太田隆之、渡壁辰夫、故山田大吉郎各先生方と、故山田政次郎、故井内博見、各会長と故大矢隆史副会長がおられ、歴史を感じさせられます。過去九回の十四年間に亡くなられた会員も何人かおられます。70才をめどになると毎年行なつても8回で終る事になります。永遠に続くであろう成器会と異なり、後数回で終宴を迎える成器39会は一抹の寂しさを感じます。まだ一度も来ておられない方はぜひお越し下さい。お待ち申し上げております。

吹奏楽部OB・在校生懇親会

大阪学芸高等学校吹奏楽部OB会

事務局長 堀崎尚文

（平成10年3月卒業）

吹奏楽部OB会の活動目的の一つとして、クラブ活動に対するサポートがあります。部員の音楽水準の向上や、演奏会など对外行事でのバックアップなど、演奏に対するサポートが主となっています。そのような中で、「今まで企画したことのないイベントをしてみよう」と、今年卒業したメンバー3人を中心にして、部員と卒業生が音楽以外で何か交流は出来ないものかと思案し、実現したのがこの懇親会でした。

平成19年11月4日（日）に吹奏楽部OB会主催の懇親会を高校の食堂をお借りしての開催となりました。

簡単に用意した食事をするのではなく、参加者には自分たちでタコ焼きを焼いて、食べていただくことにしました。部員、卒業生が互いに相手のことをもっと知ろうとして、ちょっとしたゲームも企画しました。卒業生は日頃見せないようなユニークな一面を出したり、部員は先輩後輩の垣根を越えてフレンドリーに接したり、お昼の2時間を賑やかに過ごすことができました。

参加者は3年生を含めた部員58名と吹奏楽部顧問の豊川友啓先生、橋本康代先生、樋上泰弘先生、前顧問の北原祥弘先生、そして卒業生31名の計93名でした。初めての企画にもかかわらず、本当に多くの方に参加していただけたことが何よりも良かったと思っています。まずは参加することで会話が生まれ、そこで現状を把握することができます。まずは参加することで会話が生き、いろいろな情報を共有することで、新たな行動が生まれる。組織が発展するには重要なことであると私は感じて

おります。

今回のイベントに限らず、様々な交流ができる場を大切にして今後の活動をより良いものにしたいと思つております。これからも吹奏楽部OB会の活動に対しまして理解と支援を賜りまことに願い申し上げます。



恩師を囲んで ♪27年ぶりの再会♪

佐藤政範（昭和55年卒）

平成19年6月24日、梅田のホテル「ヒルトン」35Fのレストランにて昭和55年卒業の吹奏楽部OB有志で北原先生を囲んでの食事会を行いました。

当日、集まった同期17名のうち、柏木君、森岡君、久保君、西村君、森本君、竹本君、今村君、私（佐藤）の8名でした。中には卒業以来27年ぶりという同期も。参加できなかつた秋田君、西野君、中元君からは電話があり、それぞれの近況を聞くことができました。その日は、お互いの近況を報告し合い終了、4ヶ月後の再会を約しその場は解散ということになりました。

平成19年10月28日再びホテル「ヒルトン」2Fシーズンにて昭和55年卒業のOB有志が北原先生を囲んでの食事会を開催しました。参加者は前回と同

じく部長の土井君をはじめ、小西君、竹本君、柏木君、久保君、西村君、今村君、そして私（佐藤）の8名、話はそれぞれの近況報告から子供の話まで前回と同じ懐かしい仲間との集まりで話は広がるばかりでした。

2007.10.29



北原先生を囲んで!!

松村秀志（昭和62年卒）

北原祥弘先生（吹奏楽部OB会名誉顧問・前大阪学芸高等学校教頭）は、35年間にわたって吹奏楽部の顧問を務められ、平成18年3月末の退職まで多くの卒業生がお世話をなっていました。最近、そんな北原先生の退職を期

たことなど青春時代の様々な思い出を語りいました。その後場所を梅田から難波のカラオケボックスに移して北原先生指揮のもとカラオケで我々現役時代に演奏した宇宙戦艦ヤマトを大合唱、最後は次回の約束をした後に記念写真をとり、解散、本当に楽しく過りました。

お時間を作つていただいた北原先生、集まってくれた同期の仲間、本当にありがとうございました。

2007.10.29

たことなど青春時代の様々な思い出を語りいました。その後場所を梅田から難波のカラオケボックスに移して北原先生指揮のもとカラオケで我々現役時代に演奏した宇宙戦艦ヤマトを大合唱、最後は次回の約束をした後に記念写真をとり、解散、本当に楽しく過しました。

お時間を作つていただいた北原先生、集まってくれた同期の仲間、本当にありがとうございました。

2007.10.29

その中でも一番盛り上がったのは、やはり現役部員時代の話です。楽しかったこと、苦しかった練習のこと、吹奏楽部の運営方針を巡つて喧嘩？をしながらの会が行われています。今回は大

阪学芸高校（成器商業・成器高校）吹奏楽部OB会事務局に届いた「北原先生を囲む会」の開催報告の中から田二聖日望塗したいと思います。

「北原先生の還暦を祝う会」

平成18年12月3日の日曜日、難波の居酒屋「がんこ」にて昭和62年卒業の吹奏楽部OB 同期の有志が集まりました。

そもそもこの会を開催しようと思つたのは、私（松村）が北原先生の現役

最後の第18回定期演奏会に演奏者として、出させて頂いたことから始まり、そのことを大仏（おさひき）君に話をしたところ、「それやつた同期を集めだけ集めて、自分たち昭和62年卒でも先生を囲む会をやろうやー」ということになり、朝倉君にもその旨を伝え、祝う会の代表幹事をしてもらいました。そして、連絡は当時の学生名簿から同学年の吹奏楽部部員をピックアップして、私と大仏君で同期16名に電話

連絡。そして同じ頃（確か8月の中旬）に北原先生にも連絡。「北原先生、私たちの同期で改めて還暦を祝う会開催したいのですが、12月頃の予定を教えてください」と伝えたところ

「お前なー、今まだ8月やぞ？そんなもん12月までつし生きてるかどうかわからんぞ（笑）」といった、相変わらずの北原節も健在で、先生の予定と私たちの予定を合わせたところ、12月3日が決定。

当日、集合したメンバーは当時部長の和田君、名古屋から駆けつけてくれた副部長の神倉君、そして京都から朝倉君、大仏君、坂根君、中西君、中村君、広島から藤巻君、矢沢君、山口君、私の計11名（あとの5名は残念ながら連絡つかず）。祝う会は午後1時から始まり、朝倉君の知り合いの窯元で焼いてもらったペアの小皿とコーヒーカップを北原先生に進呈。卒業してちょうど20年、スタートから全開のテンションで話は尽きることなく約5時間

（途中移動もしました）。まだまだ話をしたかったのですが帰宅のための電車がなくなるとのことで、時間切れとなり、再会できる」とを楽しみに解散。

そしてまた今年平成19年11月17日昭和62年卒業生で「第2回北原先生を囲む会」を去年と同じく難波の「がんこ」で開催することができました。

最後に、お時間を作っていただいた北原先生、集まってくれた同期の皆さん、本当にありがとうございました。

（途中移動もしました）。まだ話をするのが「成器会同窓生名簿」です。今回、「北原先生を祝う会」をOB同期の有志で開催された松村秀志さん（昭和62年卒）も同期生への連絡には「成器会同窓生名簿」を頼みとされたそうです。北原先生をださい。先生も出席してくださるそうです。その時はOB会事務局にも「だし」にして同期会の開催をしてください。先生も出席してくださるそうです。その後はOB会事務局にも「だし」にして同期会の開催をしてください。これからも吹奏楽部OB会の活動に対しまして理解と支援を賜りますようお願い申し上げます。



大阪学芸高等学校吹奏楽部OB会

事務局次長 寺西祐介
(平成11年3月卒業)

現在、われわれ大阪学芸高校（成器商業・成器高校）吹奏楽部OB会では、吹奏楽部卒業生の連絡先を把握し名簿の整理を行っています。ただ、数十年前の卒業というと吹奏楽部OB会に残された資料では連絡先が分からないといった場合が多くあります。そんなときに助けとなるのが「成器会同窓生

名簿」です。今回、「北原先生を祝う会」をOB同期の有志で開催された松村秀志さん（昭和62年卒）も同期生への連絡には「成器会同窓生名簿」

を頼みとされたそうです。北原先生をださい。先生も出席してくださるそうです。その後はOB会事務局にも「だし」にして同期会の開催をしてください。これからも吹奏楽部OB会の活動に対しまして理解と支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年度 年間行事のご案内

成器会では、次の通り平成二十年度の年間行事を開催致します。奮ってご参加下さい。

総会及び懇親会

平成二十年五月十七日(土)(場所:道頓堀ホテル)

●高野山普賢院一泊と楳の湯温泉旅行

平成二十年八月二日(土)~三日(日)

秋季懇親會

平成二十年十一月十五日(土)(場所:ニューヨンブン大使館)

*右記諸行事に参加ご希望の方には案内状を送付させていただきますので、卒業期・年度・住所・ご貴名・TEL・FAX等ご記入の上、左記の所にお送り下さい。(本年度は葉書を同封しておりません)

宛先
〒558
—
0003

成器会

大阪学芸同窓会

FAXO六
(六六九三)
五一七三

※やむをえない事情により日程を変更する」ともありますので、参加希望の方はその都度役員にお聞き下さい。

御存名		卒業期	死亡年月日	佐藤 保	右近 英意 (昭和20年一部40期) (平18-9)
高崎恒三郎	(大正12年一部18期)	(平5-7-1)		信美 章 (昭和54年高普16期)	
坂 坂 安治	(昭和15年一部35期)	(平19-1-15)		重里 孝一 (昭和36年高校13期)	
遠藤 正明	(昭和20年一部40期)	(平18-1-1)		北井 正清 (昭和54年高普16期)	
泉谷信吾郎	(昭和37年高校14期)	(平17-3-3)		前田 幸男 (昭和10年一部21期)	
花岡 義宏	(昭和39年高校16期)	(平18-4-28)		笠井 吉治 (昭和23年一部43期)	
南川 勉	(昭和41年高校18期)	(平18-10-4)		井原 敏江 (昭和45年高商22期)	
近澤 一志	(平成7年高校卒業)	(平17-11-1)		長谷川信一 (昭和8年一部28期)	
遠谷 國三	(昭和20年一部31期)			東 充典 (昭和42年高普4期)	
太田 義郎	(昭和20年一部31期)	(平18-9-1)		上田 精二 (昭和11年一部31期)	
高橋利一郎	(昭和20年一部40期)	(平18-1-1)		橋田 利明 (昭和18年一部38期)	
結城 長夫	(昭和12年一部18期)	(平18-1-9)		村瀬 治良 (昭和6年一部26期)	
浅野 徳一	(昭和23年一部43期)	(平18-4-2)		田中 進 (昭和30年高校7期)	
木村幸太郎	(昭和6年一部26期)	(平17-12-13)		堀川 寛司 (昭和14年一部25期)	
田口 高芳	(昭和8年一部28期)	(平18-1-1)		高橋 平蔵 (昭和8年一部19期)	
南川 利一	(昭和10年一部30期)	(平17-5-8)		田中 進 (昭和30年高校7期)	
中島 敏夫	(昭和11年一部31期)	(平18-1-1)		石田 恭大 (平成元年高普26期)	
三浦 健	(昭和13年一部33期)	(平18-6-1)		金合 正巳 (昭和16年一部36期)	
泊井 実一	(昭和13年一部33期)	(平18-2-23)		小島 正一 (昭和10年一部21期)	
岡田十男吉	(昭和15年一部35期)	(平17-12-1)		岡本 錠夫 (昭和19年一部39期)	
成子 文寛	(昭和15年一部35期)	(平元-1-1)		高野 光男 (昭和17年一部22期)	

「学園関係物故者慰靈碑」の管理運営にご協力下さい

わが母校は校祖遺體二吉先生が一九〇三（明治三十六）年六月に大阪市浪速区馬渕町（現戎本町二丁目）に建学されてから今年で一〇五周年目を迎えます。卒業生は三万余名、経済界を始め各界で活躍され幾多の功績を残してこられました。私たちの大先輩の中に古い卒業生として川柳の岸本水府先生（一部四期生）、高野山金剛峯寺（元管長の森寛紹師）（二部七期生）、喜劇俳優の曾我廻家明蝶師匠（一部十一期生）又元阪神タイガースで速球投手として名をはせられました梶岡忠義氏（一部三十三期生）や全国中等学校相撲大会で優勝して成器の名を挙げた下村慶次・井上清・古田隆（一部二十三期生）の諸氏等スポーツ界で活躍された方々があげられます。

さて、一昨年十月靈地高野山に建立しました「学園関係物故者慰靈碑」は、毎年催されている高野山普賢院一泊旅行の参加者によつて法要を行つようにしておりますが、参拝者の名刺受函や浄財箱等の附属品を徐々に追加工事をして行かなければなりませんので同慰靈碑の管理基金の募金活動を続けて行く必要がありますのでご協力の方よろしくお願ひ申し上げます。なお十万円以上の基金を捐出いただいた方には慰靈碑横の芳名標板にご芳名を刻して永久に保存させて戴くことになつていますので併せてご理解の上ご協力の程お願ひ申し上げます。

募金の申込み方法

一口一万円としていますが何口でも結構です。又一万円以内でも結構です。同封の払込取扱票で払込んで下さい。

「学園関係物故者慰靈碑」の管理委員会

委員長 和田 貞夫
管理委員 上野寅次郎
西野仁彦
良介
勝 鈴木 田仲
光靖弘義
清三

甘佐 渔
高田 米田
中野 田中
康敏 耕作
之文 弘作
中川 足立
中川 久米
恭孝 晃
好 雅
晃一男

慰靈碑建立募金
慰靈碑管理基金

寄付者芳名録

慰靈碑建立募金
慰靈碑管理基金

平成十九年四月一日～平成十九年十一月三十日まで六件 金七万円也の温かいご

協力を賜り深く感謝の意を表し、改めて厚くお礼申し上げます

（敬称略・到着順）

平成十九年四月一日～平成十九年十一月三十日まで六件 金七万円也の温かいご

門出 章次（昭和29年卒）和香 中芝
友田 博文（昭和41年卒）和良 泉
本田 重彦（昭和25年卒）奈良 泉
大岡本隆夫（昭和19年卒）大阪市中央区
田中善三郎（昭和17年卒）奈良 泉
市 市 市 市

慰靈碑管理基金

伊丹 敬次（大正14年卒）費香

友田 博文（昭和41年卒）和良 泉

本田 重彦（昭和25年卒）奈良 泉

大岡本隆夫（昭和19年卒）大阪市中央区

田中善三郎（昭和17年卒）奈良 泉

市 市 市 市

慰靈碑建立募金

貝志堅英三（昭和34年卒）吹田市

高田 和明（元教員）和泉市

藤原 信雄（昭和13年卒）大阪市天王寺区

川田 峰夫（昭和35年卒）堺市

中野 遼男（昭和20年卒）堺市

武江栄太郎（昭和28年卒）東大阪市

大橋 秀志（昭和34年卒）東大阪市

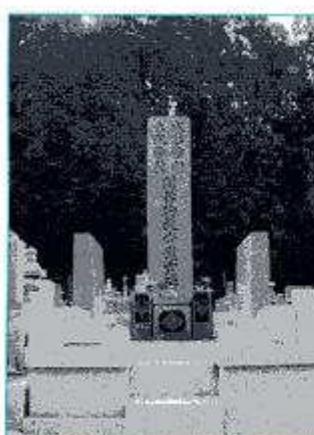
故井戸雅矩（昭和2年卒）東大阪市

松村 光三（昭和34年卒）東大阪市

村上佳也子（昭和41年卒）東大阪市

久保 義勇（昭和22年卒）東大阪市

市 市



ご案内図

- 電車ご利用の場合
新淀より南海電鉄高野線
特急で1時間20分（日曜日
は1日5本、始発時30分、
次発時）
- 急行で1時間50分（30分間）
●普通車両からケーブル
65分。
- 高野山駅から南海バスで
奥の院前終点下車、徒歩
で9分。

（新淀バス停）
（高野山駅）
（奥の院前）
（南海バス）
（新淀バス停）

成器会への募金につき
ご支援方お願ひ

平素は、成器会（大改学共同懇親会）に対し物心両面より、温かい支援を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

平成十九年度（平成十八年十一月一日）平成十九年十一月三十日まで募金事業は、募金者数（五十一名）、募金額（四十四万一千円）に達する多額の」寄付をお寄せ頂きました。

材料の値上がりなどで、経営が厳しい中小企業が落ち込む見通しであり、景気回復下で続いた賃金の増加傾向が頭打ちになります。

その中で、資金の集め方が悪くなる傾向にあるのも、仕方ないと思われますが、私たちの母校が年とともに高揚し、教育力を高めた授業を展開し、生徒に学力を走らせてることで画期的な成果を収め、他校の羨望的となつて来ました。

器会会報を通じ母校と同窓生との心の絆をしっかりと結びつけ、可能な限り募金活動を続けて実施致します。
この会報を全同窓生にお届けすることで、最近の学園の意気盛んな様子を知つてもらい、母校への关心を高めて頂き、同時に成器会活動にもご理解ご協力を得たいと考えております。

平成八年度からは、年会費もお願いします。これからも当会の活動を継続するため、成員会名義の積極的なご支援・成員会活動の活性化・財政の健全化及び会報継続発行等々に貢献するため、何卒ご理解を賜り、ご協力、ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

副会長兼書記 田中敏文

温かいご寄付に感謝します

成器会（大阪学芸同窓会）・募金事業へのご支援を本会報を通じ、同窓会の皆様にお願いいたします。したところ、多数の皆様から温かいご寄付を頂戴いたしております。（こ）芳名を揚げ感謝の意を表します。

○平成十八年十二月一日以降平成十九年十一月二十日までの受付は次の通りです。（敬称略・到着順）

寄付者 五十一名

金額 四十四万二千円也

募金本部長
 和田貞夫
 田中立彦
 田野重好
 本田好彦
 中田好彦
 敏耕仁
 文作彦
 仁好彦
 久米仲
 清漁甘
 下佐寺
 正浩良
 浩勝介
 雅男晃
 井原靖
 上野寅
 村次郎
 松井清
 木村二
 鈴木靖
 高木清
 康之清

成器会（大阪学芸同窓会）
平成二十年度募金事業本部
法 553
0003 大阪市住吉区長町
一丁目四番十五号
成器会（大阪学芸同窓会）
一口一萬円の数制限なしで（ただし事務手数料より一円単位に達しない場合はも寄んで）お受け致します。

平成十八年度 決算報告

副会長兼会計 井原 靖二

平成18年4月1日から平成19年3月31日迄の収支決算、財産目録は左記の通りです。○
○ 収支明細について概要を説明します。
○ 1、収入面は、平成19年3月の卒業生から納付された会費が15・2%、同窓各位から寄せられた年会費・寄付金（募金）が23・3%で残りは、会報広告収入と15年度より開始しました慰靈碑建立募金（49・2%）並びに特別会計剰余金（5・5%）等です。
○ 2、一方支出面は、慰靈碑建立（構築物取得）4,500千円で支出の48・9%を占めています。一方同窓生に配布する会報の印刷費と通学園の諸行事（入学式・体育祭）・春季総会演奏出演・空手道部のインターナショナル大会等、同窓会関係者に対する慶弔費・寄贈費として金一封を贈り諸活動に協力しているのが7%です。その他の支出として卒業生全員に業証書を入れる丸筒を贈呈している記念品費が卒業7%です。
○ 3、また「年会費」も納入者数60名、募金額47,700円に達しました。
○ 4、平成18年度の「募金」は同窓生のご支援ご協力により募金者数293名、納入額79,000円になりました。
○ 5、また「年会費」も納入者293名、納入額79,000円に達しました。
○ 6、建立募金額75,000円の温かいご協力を賜りました。尚、決算関係諸表につきましては、会計監査を受けた上、平成19年5月19日の定期総会において承認を得ております。

平成18年度 収支計算書

(自 平成18年4月1日～至 平成19年3月31日)

単位：円

収入の部

収入科目	実 算 額	予 算 額	予算比増減	備 考
経常収入	会 費	685,000	1,000,000	-115,000 H18年度卒業生会金 @5,000円×36名 H19年度卒業生会金 @5,000円×141名
	年 会 費	879,000	900,000	-21,000 @3,000円×293名
	寄付金収入	477,000	800,000	-323,000 60名
	広 告 収 入	390,000	600,000	-210,000 会報13コマ×30,000円
計	2,631,000	3,300,000	-669,000	
経常外収入	慰靈碑建立費	2,865,000	1,000,000	1,865,000 24件
	被服衣料	4,318	10,000	-5,682 同窓会名簿代 4,000円(該代3,500円送別500円)
	特別会計剰余金	321,710	200,000	121,710 春季懇親会精算残金 86,000円、高野山一泊旅行精算残金 6,700円、慰靈碑開眼法要・除幕式費用精算残金 21,330円、秋季懇親会精算残金 207,680円
	計	3,191,028	1,210,000	1,981,028
資本収入	受取利息	3,088	1,000	2,088 定期預金利息・普通預金決算利息
	計	3,088	1,000	2,088
収 入 計	5,825,116	4,511,000	1,314,116	
基 金 取 扱	2,000,000	2,000,000	0	
前年度繰越金	3,612,219	3,612,219	0	
合 计	11,437,335	10,123,219	1,314,116	

単位：円

支出の部

支出科目	実 算 額	予 算 額	予算比増減	備 考
総 会 費	189,780	200,000	-10,220 記念品代・総合資料印刷・総合経費	
構 築 物 取 得	4,500,000	2,500,000	2,000,000 慰靈碑建立代(奥之均石材店)	
慶弔 費	23,750	100,000	-76,250 祝金 1件 20,000円、祭礼祝供(清酒) 1件 3,750円	
寄 費	40,000	60,000	-20,000 空手道部への活動費 10,000円、吹奏楽部活動費 10,000円、高校体育部会会員費 20,000円	
記 念 品 費	66,000	100,000	-34,000 空手道部用丸筒	
印 刷 費	1,950,362	1,900,000	50,362 同窓会報「学生」墨書き印刷 124,927円、後賀・委員会案内印刷 50,400円、各行事案内印刷 42,000円、懇親会用招待状印刷 42,735円、新卒生会会員登録料 12,738円、新卒生会会員登録料 8,825円、他8回会報発行費、墨書き印刷計 44,310円、高野山一泊旅行会報 3,180円、年会費未納者回収料 6,625円、同窓会報 14,167冊、旅送料 1,063,324円、各種会議行事案内往復ハガキ 94,200円、電話料 29,668円、インターネットサービス料 33,111円、高野山一泊旅行案内郵送料 5,680円、慰靈碑建立事業運営料 29,500円、既收同窓会発行アンケート回収料 14,180円、新卒生会会員登録料 9,360円、非会員加入登録料 13,440円、その他封書等郵送料 22,790円活動資金支援	
通 信 費	1,315,253	1,300,000	15,253	
青 年 部 会 費	200,000	200,000	0	
広 告 宣伝費	0	0	0	
支 払 手 数 料	380,083	310,000	70,083 銀行手数料 1件 3,000円、郵便手数料 8,246,242円、送達手数料 9件 965円、エバーカード料 29円	
事 務 費	360,000	360,000	0 事務局員手当 30,000円×12ヶ月	
会 議 費	0	30,000	-30,000	
旅 蹴 交 通 費	38,400	45,000	-6,600 銀行・郵便局訪問交通費	
消 耗 品 費	0	0	0 文房具・現金収留封筒・プリンターインク	
相 拠 公 課 費	32,595	90,000	-57,405 受取利息に対する源泉税・地方税	
雜	616	200	416 電気料金 1,100円、会計監査費 1,014円、PCA会計ソフト「経理じまん8V2」サポート・サービス料 28,250円、慰靈碑建立高野山各社贈礼品(多め) 46,725円、慰靈碑開眼法要の写真プリント 4,000円	
手 稿 費	92,589	90,000	2,589 PCA会計ソフト「経理じまん8V2」バージョンアップ料 10,500円	
手 痞 費	0	100,000	-100,000	
支 出 計	9,189,428	7,405,200	1,784,228	
基 金 付 入	0	0	0	
次 年 度 繰 越 金	2,247,907	2,718,019	-470,112	
合 计	11,437,335	10,123,219	1,314,116	

財産目録

平成19年3月31日現在

1. 普通財産

項目	平成18年度	平成17年度	前年比増減
手許現金(合計)	390,732	349,043	41,689
手許現金(校内開催会)	96,779	60,301	36,478
普通預金(三井住友銀行西田辺支店)	752,760	2,904,249	-2,151,489
郵便振替(住吉長崎西船便局年会費口)	566,400	81,540	484,860
郵便振替(住吉長崎西船便局・募金口)	441,236	217,086	224,150
土地権(組織碑建立用土地)	2,400,000	2,400,000	0
構築物(慰靈碑建立用)	4,500,000	0	4,500,000
計	9,147,907	6,012,219	3,135,688

2. 基金

項目	平成18年度	平成17年度	前年比増減
定期預金(三井住友銀行西田辺支店)	1,000,000	3,000,000	-2,000,000
計	1,000,000	3,000,000	-2,000,000

貸借対照表

平成19年3月31日現在

資産の部		基金の部	
科目	金額	科目	金額
現金	487,511	基金	1,000,000
普通預金	752,760		
定期預金	1,007,636		
定期預金	1,000,000	剰余金	9,147,907
構築物	4,500,000	(期初越剰余金)	(6,012,219)
借入権	2,400,000	(当期剰余金)	(3,135,688)
資産合計	10,147,907	基金合計	10,147,907

剩余金処分計算書

平成19年5月19日現在

項目	金額
1. 当期未処分剰余金	9,147,907
2. 剰余金処分額	
(1) 基金組入額	0
(2) 次期繰越剰余金	9,147,907

募金事業納入状況

区分	平成18年度		平成17年度		前年比増減	
	募金者数	募金額	募金者数	募金額	募金者数	募金額
平成14年度分	1名	5,000	—	—	1名	5,000
平成15年度分	—	—	1名	2,000	—1名	-2,000
平成17年度分	1名	10,000	14名	128,000	-13名	-118,000
平成18年度分	19名	166,000	39名	303,000	-20名	-137,000
平成19年度分	38名	295,000	—	—	38名	295,000
特別寄付分	1名	1,000	—	—	1名	1,000
計	60名	477,000	54名	433,000	6名	44,000

年会費納入状況

区分	平成18年度		平成17年度		前年比増減	
	納入者数	納入額	納入者数	納入額	納入者数	納入額
平成14年度分	1名	3,000	—	—	1名	3,000
平成15年度分	—	—	1名	3,000	-1名	-3,000
平成17年度分	1名	3,000	4名	12,000	-3名	-9,000
平成18年度分	96名	294,000	57名	121,000	41名	123,000
平成19年度分	193名	579,000	206名	618,000	-13名	-39,000
計	293名	879,000	268名	804,000	25名	75,000

会費(入会金)納入状況

区分	平成18年度		平成17年度		前年比増減	
	募金者数	募金額	募金者数	募金額	募金者数	募金額
平成17年度分	—	—	54名	270,000	-54名	-270,000
平成18年度分	36名	180,000	—	—	36名	180,000
平成19年度分	141名	705,000	—	—	141名	705,000
計	127名	885,000	54名	270,000	123名	615,000

慰靈碑建立募金納入状況

区分	平成18年度		平成17年度		前年比増減	
	募金者数	募金額	募金者数	募金額	募金者数	募金額
平成17年度分	1名	10,000	59名	259,000	-58名	-208,000
平成18年度分	13名	2735,000	—	—	13名	2,735,000
平成19年度分	10名	120,000	—	—	10名	120,000
計	24名	3,565,000	59名	2,290,000	-35名	-775,000

成 器 会 (大阪学芸同窓会)

会長 和田 貞夫

年会費納入についてのお願い

昨年は安倍内閣が無責任退陣を行い福田政権が誕生致しました。しかし7月の参議院選挙では民主党が大勝して野党勢力が与党の自公勢力をうわまわり過半数を制しましたので衆議院では自公与党が過半数を制していますので衆・参が逆転現象になりましたので今までのように何んでもかんでも与党の言いままにはならないようになりました。国会の運営に期待したいと思います。年金問題や医療・介護の問題を中心とした社会保障の将来に見通しがつけられるように望みたいし、米のサブプライムの影響が日本の中小企業に振りかからぬ措置を講ずる経済政策がほしいものです。

このような不安な中で申し訳ありませんが、年会費の納入についてお願い申し上げたいのです。

一昨年の新卒者から個人情報保護法の関係で卒業生全員が成器会に加入せず希望者のみの加入になりましたため今年3月の卒業生を含め毎年100名程度の加入者ののみの加入金しか納入されなくなりましたので成器会の財政状況は極めて悪化しております。

しかしこの成器会会報「学芸」は同窓生間の評(きづな)を結ぶ唯一の手段で同窓会活動が継続する限り発行を続けて行くべきものだと考えておりますが、その発行費用(印刷費用と発送費用)が成器会会計の中で多額を要しているのが現状であります。年1回発行するこの会報によって各種活動の報告や連絡が行えている限りは多額の支出も止むを得ないことに存じます。

同窓会活動をより活発化してゆくためにも財政の充実・確立は重要なことであります。今後母校の発展と成器会の活動を充実してゆくために、卒業生、同窓生の一層のご理解とご協力を戴きたいと存じます。

同封の振込用紙をご利用の上年会費の納入について是非ご協力をお願い致します。又同期の友人や、知人の同窓生にも働きかけて下さい。又、成器会事業基金や物故者慰靈碑管理基金についても深いご理解を戴きご協力の程よろしくお願い申し上げます。

①成器会年会費 1人3,000円 ②成器会事業基金 1口1万円(何口でも結構です)

③物故者慰靈碑管理基金 1口1万円(何口でも結構です)

(10万円以上の寄付者にはご芳名を刻み慰靈建立場所に標記します)

何れも振込用紙の払込票の受領証をもって領収証に替えていただきますのでご了承願います。

※年会費納入状況

年 度	納 入 者	納 入 金 額
平成15年度(平15/4/1~平16/3/31)	277名	830,000円
平成16年度(平16/4/1~平17/3/31)	375名	1,125,000円
平成17年度(平17/4/1~平18/3/31)	268名	804,000円
平成18年度(平18/4/1~平19/3/31)	293名	879,000円
平成19年度(平19/4/1~平19/11/30)	45名	135,000円



③昭和4年(1929年)野村證券入社
昭和7年10月結婚
毎朝木製専用風呂に入る



①昭和30年(1955年)3月31日生まれ
小学校4年生の時学校わんぱく相撲大会に優勝した



④昭和34年(1959年)野村證券社長に就任
会長、相談役歴任
初代証券業協会会長を務め業界発展に尽した



②成器商業学校入学 卒業 大正14年(1925年)
大阪商科大学(市立大)卒業

元野村證券株式会社会長

瀬川美能留氏

業界トップの座を築き、業界発展に尽す

平成二十年度恒例の成器会（大阪学芸同窓会）総会並びに懇親会を左記の通り開催することになりました。詳しくお聞き頂けると嬉しいです。お聞かせの上、お問い合わせの上、多数のご出席を頂けます様お願い申します。

副会長兼書記 田中敏文

平成20年度

成器会総会及び懇親会

日時 5月17日(土)(忘れないように、手帳・カレンダー)
にメモをしておいて下さい。

《総会》3時より 《懇親会》5時より

会費 ¥5,000円

会場 道頓堀ホテル

TEL 06-6213-9040(地下鉄御堂筋線ナンバ駅24番出口)

大阪市中央区道頓堀2丁目3番25号

各線ナンバ駅より徒歩3分、ニュージャパン西隣

- 総会及び懇親会を上記の通り開催致しますので、奮ってご参加下さい。
(総会に出席できない方でも、懇親会だけでも気楽にご出席下さい)
- 懇親会の出席の方にはお楽しみ参加賞をご用意致しております。

成器会(大阪学芸同窓会)よりのお願い

成器会(大阪学芸同窓会)は昭和49年に創立され卒業生は約3万余名に及んでいます。年1回の会報「学芸」発行を継続していくためには、同窓生のご協力が必要です。振込用紙を同封いたしますので、成器会のためにぜひ年会費と事業基金の募金並びに慰靈碑管理基金等へのご協力を戴きお振込をお願い致します。

※会報に関してご意見をお聞かせください。

あわせて住所変更、クラス会・同期会の開催などもお知らせいただければ幸いです。

※〒558-0003 大阪市住吉区長居1-4-15

成器会(大阪学芸同窓会)宛 ☎06(6693)6301 FAX 06(6693)5173

※ホームページ <http://www.h3.dion.ne.jp/~gakugei>

※メールアドレス seiki-gakugei@yahoo.co.jp

[個人情報の取り扱いについて]

平成17年4月に施行されました「個人情報保護法」に基づいてデーターは厳密に管理し、同窓会活動(会報発送等)以外の目的には使用いたしません。

○○○あとがき○○○
成器会会報発刊後早や十三年目を迎え、お陰様で関係各位の協力により平成二十年度会報十二号を皆様にお届けする事が出来ました。

既に、本校創立百年以上の歴史を持つ「大阪学芸」が、少子化が急速に進んでいる中で大阪の私立高校の廃校か、他校との合併かということしか選択の道はない厳しい条件の下「絶対に潰すことはできない」という決意の下「中堅の新学校づくり」を目標に「学校改革」「教育改革」に真剣に取り組んで来た結果、他校の羨望的となり中堅の進学校になって来ました。

今後、国立大学にも多数合格させる学校づくりに期待する次第であります。最後になりましたが、ご寄稿頂きました皆様方並びに広告掲載にご協力頂きました方々に深く感謝し御礼申し上げます。

終わりに皆様方のご健康とご多幸を心からお祈り致しましてあとがきのご挨拶とさせて頂きます。

副会長兼書記 田中敏文

成器会会報「学芸」第13号

このたびは広告にご協力賜りまして誠にありがとうございます。

会報発行の際、大きな財源となっております。学園と同窓生とを結ぶ会報「学芸」がより豊富な内容で末永く発刊出来ますよう、役員・委員一同努力を重ねて行きたいと思いますので今後も広告の掲載にご協力下さい。

<p>成器会名誉会長 伊丹 啓次 (1部20期・大正14年卒業) 株式会社伊丹ビル社長・大阪学芸顧問 〒561-0814 豊中市豊南町東3-14-4 TEL 06(6331) 0745</p>	<p>税務・労務・法律・行政をはじめ 中小商工業者のあらゆる相談は…  大阪中小企業経営センター 理事長 和田貞夫 成器会会長 (大阪学芸顧問・1部39期・昭和19年卒業) 〒590-0945 堺市堺区戎之町東2丁番38号 倉庫ビル2階 TEL(072)221-5115 FAX(072)221-5055 E-mail keiei@mbi.kisweb.ne.jp URL http://www.kisweb.ne.jp/keieicenter</p>	<p>学校・会社制服製造販売 トミオカ (高校13期・昭和36年卒業) 〒556-0013 大阪市浪速区戎本町2丁目10番19号 TEL (06) 6649-2028 (代) FAX (06) 6649-2027</p>
<p>足立硝子株式会社 〒556 大阪市浪速区日本橋東2丁目2-6 TEL 大阪(06) 6643-0335 FAX (06) 6643-5677 〒542 愛知県清須市西枇杷島町古城2-4-3 TEL.名古屋(052)506-7505 FAX (052)506-1633 H.P 090-5161-3510 U.R.L http://www.adachiglass.co.jp E-mail adachi@adachiglass.co.jp</p> <p>代表取締役会長 足立好一 (高校1期・昭和24年卒業) 学校法人大阪学芸顧問・成器会顧問</p>	<p>アルミニウム・マグネシウム (材料・加工品) 表面処理  植田アルマイド工業株式会社 会長 植田健太郎 (1部36期・昭和16年卒業) 本社工場 〒599-8102 堺市東区石原町1-103 TEL(072)259-2225 (代表) 硬質工場、三重工場 E-mail ua-into@uedaalmito.co.jp ホームページ www.uedaalmito.co.jp</p>	<p> 丸善電機産業株式会社 常務取締役 橋本浩行 (大阪学芸監事・高校(普)18期生・昭和56年卒業) 本社 〒547-0033 大阪市平野区平野西1丁目2番6号 TEL(06)6797-H33(代) FAX(06)6797-H37 中国工場 江蘇省昆山市蓬朗鎮昆嘉工業区通路路 TEL0512-5761-8711 FAX0512-5761-7917 URL http://www.magnix.co.jp</p>
<p>東川株式会社 とがわ 代表取締役 東川博 (1部40期・昭和20年卒業) 〒547-0012 大阪市平野区長吉六反3-10-18 TEL (06) 6709-7280</p>	<p>電源開発株式会社 磯子火力発電所 構内 洋光産業株式会社 取締役 飯田八四郎 (1部31期・昭和11年卒業) 本社 横浜市磯子区新磯子町37-2 〒235-0017 TEL (045) 755-1923 FAX (045) 755-1923 川崎営業所 川崎市川崎区小川3-15-13 〒210-0846 TEL (044) 333-7184 FAX (044) 333-7184</p>	<p>大阪学芸中等教育学校 大阪学芸高等学校 指定業者 (有)オオサカユニフォーム 北村裕次 大阪学芸売店 (高校(普)25期生・昭和63年卒業) 〒558-0001 大阪市住吉区大領2-6-27 TEL (06) 6695-3929 FAX (06) 6693-9716 学校売店TEL-FAX (06) 6695-1599</p>
<p>鉄・ステンレスパイプ 切断専門 環境に優しい商品の取り扱い</p> <p>西野パイプ株式会社 代表取締役 西野仁彦 (高校11期・昭和34年卒業) TEL(072)255-0803 FAX(072)255-0804 e-mail nishino-paiyu@mbi.nifty.com インターネットショップ(West Field) http://w-field.b-smile.jp/</p>	<p>製パン・製菓用クリーム 惣菜の製造販売  株式会社田中食品興業所 代表取締役会長 田中善三郎 (2部28期・昭和17年卒業) 〒590-0001 堺市堺区遠里小野町2-4-26 TEL 072(238)0281(代) FAX 072(228)4161 http://www.tanaka.foods.co.jp</p>	<p>本年度で創業50年 建物総合管理・アウトソーシングの トップカンパニーをめざして挑戦する 株式会社大阪ビル管理 本部長 小川健一 (高校・平成9年卒業) 〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町6-22 TEL(06)6352-3871(代) FAX(06)7895 E-mail k-ogawa@obk.net.co.jp URL http://www.obk.net.co.jp</p>
<p> 三井みや岡本鉄工 代表取締役 岡本利雄 (学校法人大阪学芸理事長・昭和41年卒業) 大阪市平野区瓜破南2丁目1番32号 TEL 06-6707-6987 URL http://home.att.ne.jp/~alpha/okamoto/</p>	<p>有限会社 朝日プランニング 代表取締役 衣斐雅一 (高校27期・昭和50年卒業) 〒545-0043 大阪市阿倍野区松虫通2-8-9 TEL (06) 6655-6774 FAX (06) 6655-6775 asahi0829@clock.ocn.ne.jp</p>	<p>美術印刷・紙器製品 企画・提案・製作 株式会社ヒラックス 代表取締役 上野寅次郎 (成器会顧問会長・高校9期・昭和32年卒業) 〒581-0012 大阪府八尾市小阪合町1-2-15 TEL (072)929-8739 FAX (072)929-8737 E-mail hilux@axelocn.ne.jp</p>

■表紙絵及びイラスト 作家プロフィール
はら たくみ イラストレーター・日本グラフィックデザイナー協会会員
(原 琢三) テレビ出演多数で活躍中

表紙イラストは野村証券元会長、鶴川実尚氏
明治39年(1906)3月31日余良周に生る。
成器商業学校入学、大正14年(1925)卒業、大阪帝國大学(現立大)卒業。昭和4年(1929)3月1日野村証券入社
昭和34年(1959)6月社長に就任、昭和40年の証券恐慌時代には社員として貿易手続を発揮、野村大躍進の基礎を築くとともに業界トップの座を兼ね。初代証券業協会長を務め業界発展に尽した功により昭和51年(1976)4月勲一等瑞宝章を授与されました。

【明治39年(1906)~平成9年(1991)85才】